

金沢開業から3年 グランクラスは走り続ける



岡部 純子さん

(二日市)

「鷹の目と蟻の目を上手く使い分けたい」と話すのは、岡部純子さん。北陸新幹線で開業当初から最上級客車『グランクラス』のアテンダントを務めています。その確かなサービスと人望で、会社からの信頼も厚く、昨年リーダーの一人に抜てきされました。日々改善に努め、約50人のアテンダントとともに一流のものをなしに磨きをかけます。

おもてなしの心

乗客の目的は、旅行やビジネスなどさまざまです。相手に合わせたトーンやペースで話すことを心掛けて、心地良い雰囲気作りを意識しています。またプラスアルファの声掛けも大切にしています。東京から初めていらっしゃる方には金沢のプチ観光案内をするこ

リーダーの責務

アテンダントからの声を拾うことがより良いサービスの提供につながると思っています。柔軟な視野で会社とのパイプ役を務め、向上心を持って接客し、後輩に目標とされるアテンダントになれたらいいですね。

新幹線の車窓から

「またあなたの列車に乗りたい」と言われると本当にうれしく、アテンダントのやりがいを感じます。5年後敦賀までレールが伸びた時、車窓から野々市の風景を見るのが私の夢です。

プロフィール

名前 おかべ じゅんこ
誕生日 2月21日
出身地 岡山県
野々市に住んで約4年
趣味 ショッピング
旅行



今月の表紙

今月は3月17日(土)・18日(日)に開催された「花と緑ののいち 椿まつり2018」での1枚です。文化会館フォルテのロビーに設置されたピンク色の看板は今年から用意されたもので、その存在感から多くの人が足を止めて眺めていました。野々市中央公園で行われたガイドツアーや椿いっぱいコーナーも好評で、子どもからお年寄りまで幅広い年代の人が訪れていました。来年も楽しみに！

野々市検定回答

(問題は14ページ)

【第1問】B 椿いっぱいコーナー

今年初めて設置された椿いっぱいコーナー。おにぎりが配布されたほか、ヤーコンぜんざいや椿アイスが販売され、たくさんの人が集まっていました。

【第2問】A 情報交流館カメラア

椿まつりは文化会館フォルテを中心に、野々市中央公園や教育センターでも催しがあります。

【第3問】D 御経塚デザイン

御経塚式土器の文様を元に作られたデザインで、市庁舎の扉にも使われています。

編集後記

● ICHIおし市民の取材では、岡部さんが勤務するNREの金沢列車営業支店にお邪魔しました。同支店はJR金沢駅に隣接していますが、意識しなければ気が付かないような場所にあり、秘密基地のようでワクワクしました。取材を通して北陸新幹線の快適な旅が、バックヤードで働く多くの人に支えられていることを改めて実感しました。広報の仕事も誰かの快適につながると考えると、やりがいを感じますね。

(K・N)

● この春、広報広聴係を離れることになりました。入庁以来4年間、さまざまな取材をして作ってきた広報を見返すと、感慨深くなります。あるインタビューで取材後に完成した記事を見た時、「野々市に来て良かった」と言ってもらえたことがありました。その言葉がすごくうれしくて、もっと多くの人に広報をきっかけとして、野々市を好きになってもらいたいと思うようになりました。取材先で出会う皆さんの笑顔はあたたかくて、何度も元気をもらいました。今までたくさんのご協力、ありがとうございます！これからも広報野々市をぜひ愛読してくださいね。

(C・N)

テレビ広報 金沢ケーブルテレビネット

デジタルハイビジョン009ch

ののいちふれあい通信

8:00~8:30、18:00~18:30

ラジオ広報 えふえむ・エヌ・ワン

FM放送 76.3MHz

パソコン、スマートフォンのアプリでも聴けます！

FM-N1ホームページからクリック！

▶ <http://fmn1.jp/>

ホームタウン野々市

月~金 / 6:30~7:00、11:15~11:55、16:00~17:00